

がん化学療法を受ける患者さんご家族へ

抗がん薬を注射（内服）した後の体液や排泄物（尿、便、吐物、汗、唾液、精液、膣分泌物など）には、抗がん薬の成分が含まれる可能性があります。周囲の方々への影響を防ぐために、以下の対策を可能な限り実施しましょう。

《対策が必要な期間》

- 治療中および治療終了後48時間



《経口抗がん薬について》

- 経口抗がん薬を服用する際は、カップに入れるなどして直接手で触れないようにしましょう。触れた場合は手を洗いましょう。
- ご自身で経口抗がん薬を粉砕したり、カプセルを開けたりしないようにしましょう。
- ご家族が経口抗がん薬の内服介助をする場合は、手袋※を着用しましょう。 ※「使い捨ての手袋」が望ましい



《トイレについて》

- 男性もトイレは座位で行いましょう。
- 使用後は、便器の蓋を閉めて流しましょう。
- 周辺に排泄物が付着した場合は、トイレットペーパーを用いて、ご自身でふき取りしましょう。
- トイレ後はしっかり手を洗いましょう。
- ご家族がトイレを掃除する場合は、手袋※を着用しましょう。
- ご家族が排泄物を処理する際（ストーマやオムツ、尿道カテーテルを含む）は手袋※を着用し、2重のビニル袋に入れて廃棄しましょう。



《洗濯について》

- ご家族が洗濯する際は、手袋※を着用しましょう。
- 大量の体液や排泄物が付着した場合、他の洗濯物と分けて保管し、先ず1回目は他の衣類と別で洗濯し、2回目は一緒に洗濯しましょう。

参考資料：がん薬物療法における職業性曝露対策ガイドライン2019年版